

令和7年1月28日（火） 実施

受験番号	
------	--

2025 年度大学院法学研究科
特別選考による外国人修士課程入学試験問題

専攻科目に関する論文試験（日本語で解答すること）

- (1) 問題冊子、下書用紙、すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること（氏名は絶対に記入しないこと）。
- (2) **出願時に申請した1科目（入学後に専攻を予定している科目1科目）**を解答しなさい。
- (3) 解答用紙の所定の欄に、選択した科目の番号および科目名を記入すること。
- (4) 各解答用紙には、選択した問の番号を必ず記入すること。
- (5) 解答用紙は使用するしないにかかわらず、2枚とも回収する。受験番号と選択した科目の番号および科目名を記入すること。

【1】租税法

次の2問とも解答しなさい。解答用紙は1問につき1枚使用すること。

問1 インフレーションが所得税に及ぼす影響について論じなさい。

問2 所得税法が採用する実現原則について論じなさい。

【2】民法

下記の中から1つを選び、日本の民法などを参考にして検討しなさい。解答用紙は裏面も使用してよいが、1枚に収めなさい。その際、日本の法律については、適宜、法律の条文を挙げなさい（「日本民法90条によれば・・・」のように指摘すれば足り、条文そのものを引用する必要はない）。

1. 嫡出推定・否認制度について
2. 不真正連帯債務について
3. 債権譲渡制限特約に基づく譲受人に対する抗弁事由について
4. 抵当権と時効について
5. 肖像権の保護について
6. 所有権留保売主の法的保護について
7. インターネット上の誹謗中傷について

【3】国際私法

次の2問とも解答しなさい。

問1 日本の国際私法として「隠れた反致」が認められるか、「隠れた反致」とはどのような反致のことかを明らかにした上で、論じなさい。

問2 日本でも、民事裁判手続のIT化を進めるため、いわゆるシステム送達やウェブ会議システムを使った証人尋問等を可能とする法改正が行われました。民事裁判手続におけるITの利用に関し、法廷地国の観点からみて外国に所在する当事者や証人の尋問等についてウェブ会議システムを利用することが可能か、論じなさい。

【4】知的財産法

以下の4問のうち、問題1には全員解答しなさい。また、問題2～4の中から、残り1問を選択して解答しなさい。解答の順序は問わないが、選択した問題の番号を、解答の最初にはっきりと書くこと。

解答にあたっては、必ず日本法と中国法の両方について書くこと。できれば、日中の法を比較しつつ述べるのが望ましい。

日本法に関しては、問題中に指示がない場合でも、適切な条文が挙げられていることを要する。中国法についても、問題中に指示がある場合には、条文を挙げる必要がある。また、日中いずれの法についても、主要な判例・裁判例には言及することが望ましい。

(本問必修)

1. 著作権法上の引用に関する条文を指摘し、その解釈・適用にあたり、どのような議論がなされているかを説明しなさい。

(以下から1問を選択)

2. 文房具メーカーAは、人気漫画Mの作者Bに無断でその主人公Cの肖像画を作成し、それを印刷した文房具を製造販売している。この肖像画の服装・表情と全く同一のCはMのどのコマにも登場しないが、Mの読者は肖像画から間違いなくCを認識できる。このとき、Bが著作権法と不正競争防止法に基づいてとりうる法的手段を述べなさい。

3. 動物写真家Aはカメラを持って山奥に行き、野生の猿の写真を撮る予定であった。ところが、1頭の猿がAからカメラを奪い、レンズを自分に向けてシャッターを切り、たいへん鮮明で構図もしっかりした自撮り写真を撮影した。この写真の著作者は誰か。

4. A出版社は、有名作家Bから紹介された作家志望のCに十分な報酬を支払う代わりに、作品は全てB名義で公表するように約束させてから、小説を書かせた。A社はCが小説の著作者として名乗り出ることを法的に禁止できるか。

【5】 商法

次の2問とも解答しなさい。解答用紙は1問につき1枚を使用すること。

問1 株主総会決議に係る「瑕疵連鎖説」とは、どのような問題における、どのような考え方を指すか、具体的な事例を挙げながら説明しなさい。また、連鎖を断つ手段として考えられる方法を説明しなさい。

問2 現行会社法上、株式交換に際し、完全子会社となる会社が発行している新株予約権はどのように処理されうるか。それぞれの方法が認められる理由とともに説明しなさい。

【6】 刑法

次の4問から2問を選択し、解答しなさい（選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。）

問1 原因において自由な行為について論じなさい。

問2 量刑における責任主義の意義について論じなさい。

問3 強制性交等罪・準強制性交等罪から不同意性交等罪への改正の意義について論じなさい。

問4 強盗罪における暴行・脅迫の意義について論じなさい。

【7】 刑事訴訟法

次の3問から2問を選択し、解答しなさい（問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること）。

問1 捜査法におけるプライバシーの保護について、具体例を挙げつつ説明しなさい。

問2 公訴提起に必要な嫌疑の程度について、捜査手続との関係も意識しつつ論じなさい。

問3 違法収集証拠排除法則の意義、論拠および適用の在り方について論じなさい。